**冠詞**

冠詞については日本人学習者が最も苦手とする文法項目です。特に**定冠詞the**に至っては、何の根拠もなくtheを付ける傾向にあり、中級レベルの人（英検1級合格レベル）でもうやむやに理解したまま使いがちです。ここでは定冠詞theに焦点を当ててレクチャーを行っていきます。まず基本的なtheの概念は以下の4つです。

**①「区分と限定」　②「共通認識」　③ 「唯一無二」　 ④「強調」**

①は他の物と明確に区別する、されている場合に用います。ビジネスを例に挙げると、「農業」、「建設業」、「教育産業」等業界別に明確な区分がありますね。よってこの場合はthe agricultural industryのように**区分のthe**が必要になります。次に②の「共通認識」は海外の文法書ではよく**shared knowledge**と書かれており、「既に述べられているもの」、つまり「言わなくてもわかるだろう、あれだよ」と言ったニュアンスです。例えば会話でLet’s go to the party.と言えば、話者はどのpartyか互いに理解していることになります。③の「唯一無二」は「それ以外ない、一つしかない」ということで、例えば「ピカソが生まれた街」はこの世に一つしかないので、**the** city where Picasso was bornのようにtheが必要となります。最後の④はThis is **the** key.（これがまさにその鍵だ）というニュアンスで、IELTSのライティングで使うことはないと言ってよいでしょう。

これら以外にも例外が多々あり、すべてをカバーすることは難しいのですがおおむねこの4つを覚えておけば8割は網羅できます。では最後にIELTSで使う可能性のあるtheが必要な名詞の一覧をまとめておきました。次に紹介する語には”the”が必ず必要です。自然に運用できるようになるまで何回もこの表を確認して少しずつマスターしていきましょう！

|  |  |
| --- | --- |
| **分類** | **語彙** |
| **宇宙** | the universe / the Sun / the Earth / the Solar System \*  |
| **環境** | the environment / the sky / the weather / the ocean the atmosphere / the sea / the air / the food chain / the natural world |
| **特定の集団（形容詞にtheを付ける）** | the rich / the poor / the young / the elderly / the famousthe unemployed（失業者）/ the homeless / the educated |
| **年代、期間** | the 21st century / in the 1990s / in the year 2050at the beginning [end] of ~ / in the middle of ~the 20-year period / the seven-month interval |
| **特定の（歴史上の）出来事** | the Olympics [= the Olympic Games]the Industrial Revolution / the Second World War \*the Great East Japan Earthquake（東日本大震災） |
| **特定の区分、層** | the 25-34 age group（年齢層）/ the working group（労働階級）the low-income bracket（所得階層）/ the ~ industry [sector]the working age population（労働人口） |
| **特定の国名** | the UK / the Philippines / the Netherlands / the USA |
| **臓器** | the brain / the heart / the stomach / the liver（肝臓） |
| **器官** | the nervous system（神経系）/ the digestive system（消化器系） |
| **単位、通貨** | by the dozen / by the hour / by the pound / the yen |
| **その他** | the same / the economy / the internet / in the modern world [era] in [across / throughout] the world / in the digital [information] ageoutside the home  |
| **対の要素を持つもの** | the north [south / west / east] / the city ⇔ the countryside the North Pole（北極点）⇔ the South Pole（南極点）the Arctic（北極地方）⇔ the Antarctic（南極地方）the Pacific Ocean（太平洋）⇔ the Atlantic Ocean（大西洋）⇔ the Indian Ocean（インド洋） |

\* これ以外の惑星は無冠詞で表します（例 Mars「火星」）

\*\* はWorld War Twoでも可（ただしtheは不要）

**可算名詞と名詞の使い分けに注意！！**

可算名詞（数えられる名詞）と不可算名詞（数えられない名詞）の使い分けは多くの日本人英語学習者が苦手とする文法項目の一つです。ほとんどの名詞は可算名詞と不可算名詞の用法があり、英英辞典では一般的に可算名詞はC（Countable noun）、不可算名詞はU（Uncountable noun）と表記されています。例えばworkは「仕事」の意味ではUですが、Cでは「芸術作品」の意味としても使われます。ただし中には不可算名詞しか存在しない語彙もあり、traffic（交通）, garbage（ゴミ）, software（ソフトウェア）などはその代表例です。さらには意味が非常に似ているにもかかわらず可算と不可算で使い分けが必要な語もいくつか存在します。以下がその代表的な例です。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | **C（可算名詞）** | **U（不可算名詞）** |
| **進歩** | advance | progress |
| **研究** | research | study |
| **問題** | problem | trouble |
| **態度** | attitude | behaviour |

つまり、make great advances = make great progressやresearch shows = studies showのように考えることができます。ニュアンスは若干違いますし、例外的に複数形もありますがごくまれなケースです。そして以下にIELTSで運用することが多く、ミスを犯しやすい不可算名詞を集めました。下記の語はa / anが付いたり、複数形になることがない語です。一部例外はありますが（例: information, aid）、ライティングで使う際は不可算名詞として考えてもらって構いません。これらの語を使う際は必ずチェックすることを心がけましょう！

|  |  |
| --- | --- |
| **カテゴリー** | **一覧** |
| 情報 | data / evidence / news / information / knowledge / advice / feedback |
| エネルギー | power / energy / electricity / water / sun / oil / heat / air / alcohol |
| 作業・労働 | housework / homework / labour / employment / management |
| 援助, 支援 | support / assistance / aid / encouragement / maintenance  |
| 損害, 損失 | damage / harm / destruction / pollution / disappearance / extinction |
| 感情, 性質 | happiness / motivation / stress / pressure / confidence / fun / determination |
| 活動, 行為 | shopping / leisure / travel / training / advertising / performance / attention  |
| 状態 | appearance / weather / health / traffic / access / freedom / security / peace |
| 過程, 形態 | education / transport / recycling / consumption / cooperation |
| 集合体 | infrastructure / entertainment / equipment / furniture / machinery / garbagestaff / scenery / merchandise  |

ちなみに可算名詞と不可算名詞の見分け方の違いは「**触れられるか**」と「**絵に描けるか**」の2つです。すべてに当てはまるわけではありませんが、上記からいくつか抜粋するとenergy, support, weather, peace, furnitureは触れることはできませんし、絵にかくこともできませんね。いやfurnitureは書けるだろう？と思われるかもしれませんが、それは椅子や机など個の家具を指す場合であってfurniture自体を描くことはできません。このような観点から考えることで覚えやすさもグーンとアップしますので参考になさってください。